第４章　計画の内容

つどう

～子どもと親の成長を支える場づくり～

■基本施策　1．子育て支援センター機能の充実

子育て中の親が地域で安心して子育てができるよう、子育て支援センターを中心に、相談や支援の場づくりを充実します。

取り組み	概要及び主な事業	前期計画 平成 17 年度から 平成 21 年度までの実績	後期計画 平成 26 年度 までの目標
子育て支援センター事業の推進	地域の多様なニーズに対応した総合的な子育て支援活動や子育て環境づくりについて関係課と連携しながら推進します。	平成 18 年度子育て支援センターを開設し、保育士・保健師が常駐するセンター型で運営しています。 （前期重点目標）	継　続
つどいの場の充実 ・キッズルーム ・すまいる広場	キッズルームは中央公民館に、すまいる広場は子育て支援センターに設置し、未就学児の子を持つ親子が気軽に集い、相談・交流ができる場の充実を推進していきます。	平成 20 年度利用状況 ・キッズルーム延べ 884 人、 ・すまいる広場延べ 3,154 人 年々利用者が増加し交流を深めています。	継　続
親子ふれあいイベントの充実	子育て仲間が一同に「つどい」、交流を深めながら互いに「学び」「支えあう」ことのできるイベントを開催します。 ・親子すまいるフェスタ ・春＞親子ふれあい遠足 ・秋＞やきいも＆芋煮会 ・冬＞サンタが家にやってくる　等	平成 18 年度から実施 健康増進課・生涯学習課及び保育所との協働、ボランティアの協力など、子育て支援スタッフの輪が広がっています。	充　実

■基本施策　２．子育て情報と学習の機会の提供

親が自信と責任感をもって家庭での子育てができるよう、相談事業を充実するとともに、多様な子育てに関わる情報や学習の機会の提供を推進します。

取り組み	概要及び主な事業	前期計画 平成 17 年度から 平成 21 年度までの実績	後期計画 平成 26 年度 までの目標
子育て相談窓口の充実	子育て支援センター、健康増進課、教育総務課、生涯学習課及び遠山、汐見保育所が窓口となり、相談体制の充実を推進します。	身近で安心できる雰囲気の中で、子育てに関しての悩みや疑問を相談できる体制づくりを進めています。	継　続
子育て教室の充実	交流の場を提供し、子育てに関する知識と情報を提供します。 ・ベビールーム ・あそぼあそぼ ・親子あそび ・離乳食教室　等	平成 18 年度から実施。各種教室の開催により、親子で楽しむこと、また、地域の中で親子と親しくなる機会が増えています。	継　続
子育て支援サービスに関する情報提供	子育て支援センターが情報を一元的に把握し、保護者等への情報発信を進めていきます。	平成 18 年度から実施。子育て支援センターでは、毎月 1 回「すまいる通信」の発行をします。 配布場所は ・子育て支援センター ・母子健康センター ・生涯学習センター ・図書センター ・まつぼっくり広場等	継　続
家庭教育の充実	育児ゆうゆう広場、子育てサロン、図書センター事業等（生涯学習課が主催）で、子育て相談や親子の交流、講演会等の学習の機会や情報を提供し、家庭教育の推進を図ります。	様々な交流活動をとおして、母親同士の交流や連携が図られています。平成 21 年度より、子育てサロンを子育て支援センター事業として継続しています。	継　続

■基本施策　３．子どもの健全育成の推進

子どもが地域において自主的に参加し安全に過ごすことができるような子どもの居場所づくりに努め、子どもの健全育成の推進を図ります。

取り組み	概要及び主な事業	前期計画 平成 17 年度から 平成 21 年度までの実績	後期計画 平成 26 年度 までの目標
放課後児童の健全育成事業の推進	小学校３年生までの児童で下校後保護者等が家庭にいない者を対象に、適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図っていきます。	平成 21 年度第４児童保育館（汐見小学校区）を増設し、町内 4 箇所に拡充しています。	拡　充 まつかぜ児童保育館新築予定
総合型地域スポーツクラブとの連携	子どもたちの放課後の居場所づくりとして、小学校を拠点に健全育成を図っていきます。 ・ゆめキッズ教室 事業主体： NPO法人 アクアゆめクラブ	平成 21 年度登録状況 ・松ヶ浜小学校 17 人 ・汐見小学校　27 人 ・亦楽小学校　27 人 週１回実施しています。	継　続
保育所等の園庭開放	園庭を開放し、遊び場の提供や子どもたちとの交流の機会を提供し、支援に努めます。	園庭以外の周囲の雑木林等を子どもの遊び場や地区住民の通行に開放しています。 ・公立保育所２箇所	継　続
学校施設の開放	放課後や休日における体育館、運動場等の学校施設の開放を行います。	学校教育に支障のない範囲で、町民の利用に供することで、生涯学習及びスポーツの推進を図っています。 小学校３箇所･中学校２箇所	継　続
児童遊園等での遊び場の確保	児童遊園や都市公園等の管理を一元的に行い、児童の遊び場を確保するとともに、各種公園等の整備を図っていきます。	地域住民の協力により､清掃､除草等を行い、児童の遊び場を確保しています。 遊具点検を定期的に実施し安全対策に努めています。 ・児童遊園　14 箇所 ・遊具のある公園　１７箇所 ・農村公園　２箇所	継　続

■基本施策　4．教育環境の充実

次代の担い手である子どもたちが、豊かな心・健やかな身体・確かな学力を育み、更に、大人となって家庭をつくり、子どもを育むことの大切さや意義を理解できる教育環境の整備を推進します。

取り組み	概要及び主な事業	前期計画 平成 17 年度から 平成 21 年度までの実績	後期計画 平成 26 年度 までの目標
スポーツ環境の整備	スポーツフェスタ in 七ヶ浜スポーツ少年団等のスポーツ団体及び公民分館活動等で、幼児期から気軽にスポーツのできる環境づくりに努めます。また、スポーツを通して地域住民のコミュニティの形成を図ります。	平成 21 年度スポーツ少年団 ・加盟団体数　12 団体 ・登録者数　337 人 各スポーツ分野で活躍されています。	継　続
芸術文化環境整備	舞台芸術活動に関わる参加者の人材育成と七ヶ浜独自の芸術発信と、いきいきしたまちづくり、ひとづくりに努めます。 幼児・児童・生徒を対象とした文化鑑賞や親子・子ども参加の芸術文化事業・行事の推進を図ります。	七ヶ浜国際村舞台芸術育成事業として、毎週木曜日に定期レッスンを行っています。 平成 21 年度 NaNa5931 は 11 月に『NaNa ‘09』を、Groove 7 も 11 月に『Groove Factoey4』を公演しています。参加者の意識の向上と、地域における、創作舞台芸術並びに演奏活動の活性化に寄与しています。『親子すまいるフェスタ』は、これまで２回６月に実施し、町内外よりたくさんの家族がつどい、舞台鑑賞を楽しみました。	継　続
児童国際交流活動	国際感覚を養うための派遣、国際交流イベントの事業を推進していきます。 ・姉妹都市交流	平成４年度プリマス青少年訪問団の受入れを開始しています。現在までの実績 ・青少年訪問団　延べ 137 人 ・受入れホストファミリー 延べ 141 家族 多くの町民との交流や国際理解を進めております。	継　続

取り組み	概要及び主な事業	前期計画 平成 17 年度から 平成 21 年度までの実績	後期計画 平成 26 年度 までの目標
社会教育施設等の利用活用の推進	社会教育施設等を活用し、学ぶ意欲・思考力、問題解決力まで含めた確かな学力を身につける取り組みを推進します。 ・セブンビーチアドベンチャースクール ・セブンビーチ親子ふれあい塾	体験学習事業（合宿通学）４泊５日、アドベンチャースクール６回、だいぎ縄文キャンプ１泊２日実施しています。 参加した子どもたちは、地域の子ども会活動を始め、様々な活動にリーダー的役割を果たしています。	継　続
豊かな心の育成	子どもの豊かな心を育むため、指導方法や指導体制の工夫改善等を進めていきます。５本の柱（健全育成・授業づくり・ふるさと活動・広報活動・開放講座）となる事業を展開します。 ・七ヶ浜ジョイント５ ・小中学校交流授業授業参観交流 ・子どもゆめ議会 ・海浜清掃　等	子どもたちが自らを地域の一員と意識するようになってきており、子どもゆめ議会での質問に関連し、子どもたちの活動により成果を挙げた事例も出るなど、よりよい地域づくりの実践に寄与しています。	継　続